

講演

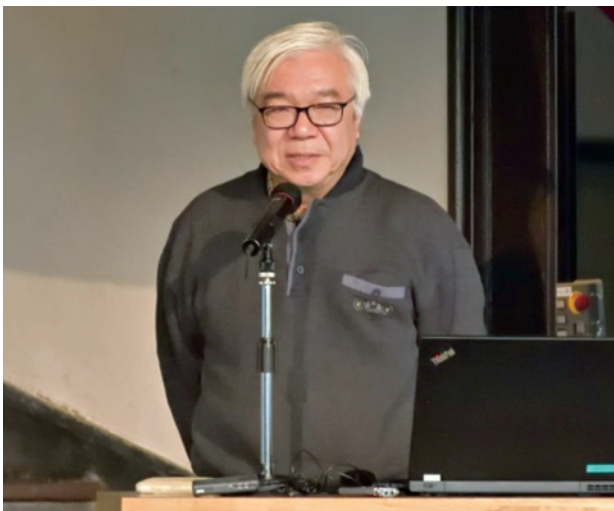
産学共同による ERM 文献翻訳の取組み

日本大学 田中 周二
早稲田大学（基幹理工・清水研究室） 岡田 秀路
メットライフ生命 渡辺 裕介

日本アクチュアリー会第7回例会講演 2018年12月22日早稲田大学

（講演原題「日本アクチュアリー会（産学共同委員会）と早稲田大学（基幹理工・清水研）による共同取組みについて：ERMに関する学術書翻訳事業」）

【司会】 続きまして、日本アクチュアリー会産学共同委員会と早稲田大学基幹理工・清水研究室による共同研究ということで、日本大学の田中先生から、よろしくお願いたします。



田中周二氏

【田中】 日本大学文理学部の田中ですが、日本アクチュアリー会では産学共同委員長を務めております。

産学共同委員会は、このような大学や学会のイベントと協力、あるいは、研究や教育関係で大学といろいろな協力をしています。例えば、大学に非常勤講師の派遣なども行っているのですが、新たな取り組みとして、一つ、大学の研究者とさまざまなディスカッションをする場として、昨年度からアクチュアリー会と保険年金リスク学会と共同の研究集会を始めております。

翻訳事業の経緯

- 早稲田大学基幹理工学部清水泰隆研究室と日本アクチュアリー会産学共同委員会の初の共同取り組み事業としてWÜTHRICH, MARIO V., MERZ, MICHAEL 著の

FINANCIAL MODELING, ACTUARIAL VALUATION AND SOLVENCY IN INSURANCE, SPRINGER (2013)

の翻訳を行うことになった。

- 翻訳の経緯は、田中が近著「保険リスクマネジメント」の4章でも数理ファイナンスに根拠づけられた新しい保険数学のアプローチにもとづく同書を清水教授に紹介したことがきっかけとなり、清水研究室のゼミナールで採用されたことから清水教授より共同翻訳の話があり、産学共同委員会の公式事業として採択したものである。

共同翻訳事業について

日本大学・日本アクチュアリー会産学共同委員長

田中周二

2018.12.22

今年の夏くらいから早稲田大学の清水先生と話を
する中でアクチュアリー会と清水研究室のゼミの方
とで共同翻訳事業をやろうということになりました
ので、現在進行中のことをご紹介します。

具体的には、「FINANCIAL MODELING,